



# 由布市 議会だより

YUFU CITY COUNCIL

No. 69  
2023年2月



由布市消防団特別点検  
(挾間町中洲賀グラウンド)

## CONTENTS

- 令和4年第1回臨時会 概要 ..... 1
- 令和4年第4回定例会 概要 ..... 1
- 議案質疑 ..... 2
- 常任委員会報告 ..... 3～5
- 視察研修報告 ..... 5～6
- 市政を問う（一般質問） ..... 7～10
- 請願・陳情結果、賛否一覧、編集後記等 ..... 裏表紙

## 令和4年 第1回臨時会概要

令和4年第1回臨時会が10月27日の1日間、開催されました。今臨時会で上程された事件として、専決処分した補正予算の承認1件、条例改正1件、補正予算1件を審議し、全て承認・可決しました。

【主な内容】

- ◎由布市耕地災害復旧事業分担金徴収条例の一部改正
  - 災害復旧事業における分担金の上限額を定め、被災者の負担を軽減させるもの
- ◎令和4年度由布市一般会計補正予算（第4・5号）
  - 歳入歳出にそれぞれ6億6,262万4千円を追加し、総額222億2,868万2千円とする。
  - 新型コロナウイルスワクチン接種（オミクロン対応）……………8,329万6千円
  - 物価高騰対策（非課税世帯、子ども食堂、飼料、商工業等）……………3億2,979万円
  - 台風14号災害による緊急対応費等……………2億4,953万8千円

## 令和4年 第4回定例会概要

令和4年第4回定例会が11月30日に開会され12月13日までの14日間開催されました。今定例会で上程された事件として報告3件、議案17件、を審議し、全て原案可決としました。また、請願4件が上程され、1件を採択、3件を継続審査としました。

【主な提出議案】

＜議案＞

- ◎由布市職員の定年等に関する条例の一部改正について
  - ・地方公務員法の一部を改正する法律により定年年齢が引き上げられることに伴い、所要の改正を行う。（60歳から65歳）
- ◎由布市水道事業給水条例の一部改正について
  - ・民法の改正に伴いライフライン設備・使用権に関する規定を整備すること及び水道料金を改定する。（水道料金統一、単一従量料金を逓増型重量料金を改定）

＜予算＞

- ◎令和4年度由布市一般会計補正予算（第6・7号）
  - 歳入歳出それぞれに12億3,189万2千円を追加し、総額234億6,057万4千円とする。（歳出予算概要）
  - 出産・子育て一体的支援事業……………3,012万3千円
  - 新型コロナウイルス緊急対策事業（食料品等価格高騰対策）……………4,162万6千円
  - 子育てほっとクーポン事業……………46万9千円
  - 県営基盤整備事業（柚ノ木、平石圃場、大郷ため池、古野、提子井路）……………6,225万円
  - 新型コロナウイルス緊急対策事業（プレミアム商品券発行事業）……………3億931万7千円
  - 公共土木施設災害復旧費（令和4年9月台風14号災害復旧費）……………3億6,355万円
- ◎令和4年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- ◎令和4年度介護保険特別会計補正予算（第3号）
- ◎令和4年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）
- ◎令和4年度水道事業会計補正予算（第2号）

＜指定管理者の指定＞

- ① 由布市挟間高齢者等就業支援センター（公益社団法人由布市シルバー人材センター）
- ② 由布市城ヶ原農村公園（由布市庄内町観光協会）
- ③ 独自住宅、由布市市営特定公共賃貸住宅及び由布市市営雇用促進住宅並びにその共同施設（大分県住宅供給公社）



## 特別委員会の設置

- ・予算特別委員会（委員長：鷲野弘一 副委員長：田中真理子）

## 議案質疑

**議案第 64 号 由布市過疎地域持続的発展計画の変更について**

**Q** 廃棄物処理施設の、集約化に伴う中継施設等建設の検討状況を問う。

**A** 過疎計画に整合性を持たせる上から、候補地となりうるべき面積のあるすべての土地、5 か所を一応候補地として上げ、今後政策会議で示された選定方針 6 項目の設定基準に沿って、1 か所に絞り込んでいく。

**議案第 69 号 由布市水道事業給水条例の一部改正について**

**Q** 湯布院地域の激変緩和措置期間、4 年 3 か月の理由を問う。

**A** 改定 5 年後において、経営の見直しができるよう、4 年 3 か月と設定をした。

**Q** 激変緩和措置期間の再検討の余地はないか。

**A** 施行までの期間を 1 年遅らせ、1 年間の周知期間をとっている。あまり長く期間を設定すると、経営状況が圧迫した場合、見直しができないことになる。従って 4 年 3 か月が妥当と判断をした。

**議案第 70 号 由布市挾間高齢者等就業支援センターの指定管理者の指定について**

**Q** シルバー人材センターの、今後の経営が圧迫した時の市としての支援策を問う。

**A** シルバー人材センターを取り巻く制度等を含め、状況の変化等があった際には随時体制整備について協議をし、安定的な運営ができるよう支援をしていく。

**議案第 71 号 由布市城ヶ原農村公園の指定管理者の指定について**

**Q** 議案第 71 号の、公募による指定が行われた理由を問う。

**A** 指定管理者の手続きに関する規定の第 2 条に、原則論として公募するとうたわれている。原則論に従って公募という措置をとった。

**Q** 審査項目の見直しの必要性があるのではないか。

**A** なるべく早いうちに、施設にあった審査項目の見直しをしていく。

**議案第 73 号 令和 4 年度由布市一般会計補正予算（第 6 号）**

**Q** 造林事業の、森林環境保全直接支援事業補助金の詳細説明を求める。

**A** 森林所有者から森林経営の委託を受けた林業事業者が、森林経営計画の認定を受け、その計画に基づいて行われる造林事業に対する、国県補助に市の補助金を上乗せするもの。

**Q** 森林環境譲与税の使途について問う。

**A** 施策の人材育成の確保、普及啓発、木材利用の促進、未整備林の整備等に活用している。

**Q** 地域イメージ向上対策事業の、工事内容の詳細説明を求める。

**A** 城ヶ原オートキャンプ場の、管理棟和式トイレ 3 基、公園棟和式トイレ 1 基の洋式化並びに由布川峡谷の、女子和式トイレ 1 基の洋式化と、内外の改修およびバリアフリーを行うもの。

**Q** 3 回目プレミアム券発行の理由と期間、また今回も同じやり方なのか問う。

**A** 3 回目については大分県の補助事業とのセット事業という状況の中、エネルギーや食料品の価格高騰に見舞われている、生産者と事業者等への支援という観点から実施をするもの。時期は 1 月に事業者の募集、3 月の中旬から販売開始、使用期間は 6 月末と考えている。

**Q** プレミアム商品券の過去 2 回の実績を問う。

**A** 1 回目、1 億 3,000 万円の内、換金額 1 億 2,933 万円 (99.49%)。2 回目、3 億 9,000 万円の内、換金額 3 億 8,873 万円 (99.67%)。発行された金額が有効に使われている。

## 総務常任委員会

### 令和4年度由布市一般会計補正予算 (第6号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ12億156万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ234億3,025万円とするもの。

ふるさと納税による1億円の歳入の増額については、本年11月までの実績および今後の推計値に基づき増額するもの。

本年度の年間寄附額は、前年度実績を大幅に上回る約4億円を試算しているとの説明があった。

委員会として、財源改革推進課のふるさと納税の取り組み等、自主財源確保に向けた取り組みに期待したいとの意見があった。

### 川西中辺地及び内成辺地に係る総合整備計画の変更について

川西中辺地及び内成辺地について、公共的施設の整備計画の中で、市道改良工事の事業費に変更が生じたため、辺地対策事業債の予定額を変更することについて、議会の議決を求めるもの。津々良奥江線の事業費3,500万円から7,000万円に、そうづ川朴木線の事業費2,500万円から5,000万円に変更。増額の理由として、社会情勢の変化により、人件費や資材費等が上昇したことによるもの。

### 由布市過疎地域持続的発展計画の変更について

由布市過疎地域持続的発展計画における、由布市公共施設等総合管理計画等との整合性を図るため、今回、廃棄物処理施設に係る内容を追加することについて、議会の議決を求めるもの。追加内容として、由布市環境衛生センターにおける、し尿・浄化槽汚泥の

継続的な処理を行うための施設老朽化に伴う更新や、新環境センター建設について、広域処理を含めた集約化や集約に伴う中継施設等の建設について、過疎対策事業債を財源として活用できるようにするもの。

### 由布市債権管理条例の制定について

市の債権管理に関して、統一的な事務処理基準を定めることにより、債権管理の適正化と事務の効率化を図り、市民負担の公平性を確保するとともに、未収債権を縮減することで公正かつ健全な行財政運営を進めるため、本条例を制定するもの。

### 由布市職員の定年等に関する条例の一部改正について

本条例の一部改正については、職員の定年の年齢を、経過措置を設けて段階的に60歳から65歳に引き上げを行うものであり、本制度は、令和5年から2年ごとに1歳ずつ引き上げ、令和14年度に制度完成となっている。

### 由布市職員の給与に関する条例の一部改正について

### 由布市印鑑条例の一部改正について

性同一性障害・性的指向・性自認等の多様な性のあり方の観点から、個人の人権を尊重するため、印鑑登録原票及び印鑑登録証明書の男女の別を削除することや、令和5年2月開始予定の各種証明書のコンビニ交付サービス開始に伴い、多機能端末機による印鑑登録証明書を交付するよう所要の改正を行うもの。

全て、全員一致で原案可決



旧湯布院公民館跡地を現地調査

## 産業建設常任委員会

### 由布市水道事業給水条例の一部改正について

水道事業において健全で持続可能な事業経営を図るため、水道料金を改定するもの。

水道料金の改定については、令和6年1月からの適用を予定しており、その主な内容として、

- ①「口径別」へ変更。
- ②「基本料金と従量料金」の二部料金制へ変更。
- ③従量料金については逓増型とし、使用水量に応じて3段階の単位料金を設定。
- ④由布市全域で統一の料金とする。

激変緩和措置として新料金の始まる令和6年1月から、4年3か月の期間をかけて段階的に改定後の料金へと変化していく制度。

委員会の意見として、これまで長期にわたる議論を経て内容を精査してきた経緯を鑑み、市民への周知を丁寧に行い進めていただきたいとの意見があった。

### 由布市城ヶ原農村公園の指定管理者の指定について

令和5年4月1日から4年間の指定管理者を、引き続き「由布市庄内町観光協会」に指定するもの。

### 独自住宅、由布市市営特定公共賃貸住宅及び由布市市営雇用促進住宅並びにその共同施設の指定管理者の指定について

令和5年4月1日から4年間の指定管理者を、引き続き「大分県住宅供給公社」に指定するもの。

委員会として、今後とも利用者に十分寄り添った対



城ヶ原農村公園を現地調査

応を心がける旨、担当課として指導するよう意見を付した。

### 令和4年度由布市一般会計補正予算(第6号)

歳出の主なものは、県営事業に係る負担金6,225万円の増額は、柚ノ木地区、平石地区の圃場、大郷ため池、古野井路、提子井路に係る工事費。造林事業432万5千円の増額は、各事業体を実施する人工造林、下刈りおよび間伐等の補助金。新型コロナウイルス緊急対策事業3億931万7千円は、全県民を対象としたプレミアム商品券発行事業費。道路維持事業627万8千円。公共土木施設災害復旧費3億6,355万円は、本年9月の台風14号による災害復旧工事費。

### 令和4年度由布市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算に28万1千円追加し総額を9,015万7千円とするもので、新規加入者に伴う歳入の増額、および電気代高騰による歳出の増額によるもの。

### 令和4年度由布市水道事業会計補正予算(第2号)

収益的支出を1,251万6千円増額し総額8億3,096万8千円に、資本的収入を2,570万円増額し総額4億4,142万2千円とし、資本的支出を2,630万1千円増額し総額7億6,786万円とするもの。

内容として、光熱水費の増額、配水管布設工事費の増額、葦草浄水場の水源新設工事費の増額。

**全て、全員一致で原案可決**



請願4の道路(東石松)を現地調査

## 教育民生常任委員会

### 由布市挾間高齢者等就業支援センターの 指定管理者の指定について

本議案は、由布市挾間高齢者等就業支援センターの指定管理期間が令和5年3月末の終了に伴い、引き続き、令和5年4月1日から4年間を「公益社団法人由布市シルバー人材センター」を指定管理者として、指定するもの。

### 令和4年度由布市一般会計補正予算 (第6号)

歳入の主なものは、指定寄付金200万円、一部を各幼小中の図書費として活用。歳出の主なものは、食料品等価格高騰対策臨時支援金で福祉・医療事業者に対する支援金の増額分4,162万6千円、子育てほっとクーポン事業で、令和3年度からおむつやミルク等が利用対象に加わった事などによる利用者の増加が見込まれるための増額分46万9千円、挾間忠魂碑の解体移設費981万7千円、移設先は、遺族会の切望どおり挾間地区内に移設するように意見を付した。

### 令和4年度由布市国民健康保険特別会計 補正予算(第2号)

歳入の主なものは、保険給付費等交付金404万3千円。歳出の主なものは、出産予定者の増を見込み増額の出産育児一時金252万円。

### 令和4年度由布市介護保険特別会計補正 予算(第3号)

歳入は、介護給付費準備基金繰入金の増額3万7千円。歳出は、介護給付費財政調整交付金の過年度分の負担金の確定額3万7千円。

全て、全員一致で原案可決



高齢者等就業支援センターを現地調査

## 教育民生常任委員会 視察研修報告

### (1) 山形県山形市

#### 1. 文化振興について（やまがたクリエイティブシティセンターQ1）

東北芸術工科大学と公民連携し「国登録有形文化財」・「近代化産業遺産」である旧第一小学校校舎を文化創造都市の拠点施設としてリノベーションし、今年9月にやまがたクリエイティブシティセンターQ1としてオープン。

施設整備は山形市が行い、施設の一部を民間へ貸付けて運営管理を委託しています。地下1階を含む3階建てで、コーヒーショップなど多くのテナントが入り、公共部分では、



山形市Q1を視察

紅花文庫、文化財展示室、多目的ルームや交流ルームなど設置しています。優れた地域資産を活用しながら地域に蓄積されてきたクリエイティブのチカラを産業・観光・教育の振興に活かし、未来につなげようと躍進する山形市が見られました。

## 2. 子育て支援について（山形市南部児童遊戯施設整備事業）

「子育てしやすい環境の整備」の主要事業として、山形市南部児童遊戯施設（シェルターインクルーシブプレイス「コパル」）を整備しています。

天候に関係なくいつでも子ども達がのびのびと遊べる環境を PFI 方式により本年4月に整備。敷地面積は2万2,295.3㎡です。

この施設は、「児童厚生施設」と「子育て支援センター」を併設するもので、子育て中の保護者に対し、子どもの遊び場、専門スタッフによる保護者の子育て相談や交流の場を提供し、子育てを支援するとともに、軽運動のできる体育館を夜間に開放することで、市民の健康増進と地域交流の活性化を図ることを目的としています。また、毎日、ボランティアによる教室やイベントが開催されるなど自然と訪れたい場所、子どもだけでなく保護者も気楽に集まり誰かに相談したくなるような場所となりました。



山形市コパルを視察

## （2）秋田県横手市

文科省が実施する「全国学力・学習状況調査」において毎年トップクラスの成績を維持している横手市にて、伊藤孝俊教育長にお話を伺いました。

横手市では、毎年、小・中学校の教職員が集まり、公開研究会を重ね協議を深め同じ方向を向いて教育改善していくのが横手市の特色です。

また多くの学力向上推進事業がされていますが、中でも NIE（新聞を教材として活用すること）や学校図書館の利活用です。年16回ほど「新聞の日」を設けて児童生徒に新聞が配布され新聞を読む時間があり、言葉の力を身につけることが学力向上につながる大きな力だとされます。言語力の育成のため、就学前のこたばの指導教室を設置し、連携・交流計画などを毎年作成し、0歳から15歳まで連続して育成するという強い思いが感じられました。

## （3）視察を終えて

由布市においても文化遺産や歴史的な文化財、価値ある地域資源を生かしていくことで、未来を担う子ども達にとっても古き良きものを知り、そこから新しい利活用が生まれてくると思います。また、子ども達のすこやかな成長の為に私達がもう一度原点に戻り、現場の声を聴きながら見直しをする必要があるのではないかと強く認識しました。

## 一般質問

# 市政を問う

- 吉村 益則 議員 水道料金改定について 他
- 平松 恵美男 議員 由布市の水道事業について 他
- 志賀 輝和 議員 小学校の教育環境の今後の在り方について 他
- 加藤 幸雄 議員 新教育長の抱負について 他
- 坂本 光広 議員 台風14号災害に対する農政の対応について 他
- 淵野 けさ子 議員 市内小中学校の体育館の空調整備を 他
- 佐藤 郁夫 議員 ノーリフト推進事業について 他
- 加藤 裕三 議員 大分川他河川改修について 他
- 高田 龍也 議員 湯布院庁舎について 他
- 田中 真理子 議員 豪雨災害による復旧状況と対策、及び気象情報、避難情報のデジタル化の進捗について 他
- 佐藤 孝昭 議員 由布市の農業畜産業等の肥料や光熱費等の高騰による救済措置対策について 他
- 甲斐 裕一 議員 新教育長に聞く
- 首藤 善友 議員 学校給食の無償化について 他
- 太田 洋一郎 議員 インボイス制度の周知支援を 他



吉村 益則 議員

「水道料金改定について」  
他

**Q** 水道料金改定について

**A** 一般会計からの繰入額が増大し、これまでの経費節減努力だけでは改善が難しく、水道料金の見直しが必要と判断すると共に「水道の利用関係における公平の原則」を踏まえ料金を統一したい。  
水道料金の改定に伴う激変緩和措置として一年間の猶予の後、令和6年1月からの実施となるが地域経済の状況を見て判断したい。  
水道事業経営の健全化に向け、市民の皆様への情報開示に努め、基本方針である「安心、強靱、持続」を基に経営基盤の確立を図る。

**Q** 湯布院健康温泉館について

**A** 市民の健康増進拠点施設として位置付けされ、健康立市推進事業での活用促進施設としている。  
毎年、多額の維持管理費を要しているが適切な修繕工事を行い長寿命化を図りながら現在の管理運営形態を維持していく。

その他、農林業振興について伺いました。



平松 恵美男 議員

「由布市の  
水道事業について」他

**Q** 由布市の水道事業について、直近3年間の一般会計より水道事業への繰入金はあるか。

**A** 令和2年度は2億2,713万円、3年度は2億2,519万円の繰入額、令和4年度の予算書においては2億1,936万円を計上している。

**Q** 料金改定を行った場合に水道事業単独で健全経営を何年後に目指すか。

**A** 本議会で議案として上程している料金改定は令和2年度を基本にした将来的な試算では、料金改定が完成する令和10年度で、収益的予算において一般会計繰入金を基準内のみとした場合の収支計画がプラスになってくる見込み。

**Q** 新市道、向原別府線の今後について、北方工区の工事日程は。

**A** 北方中央線から喜多里1号線との交差点までの間は、順調に進めば令和5年度で完成させる予定となっている。

**Q** 医大道路への取付けは。

**A** 県道大分挾間(バイパス)線への取付けは都市計画に沿った交差点改良が必要。大分県大分土木事務所と協議を開催している。

**Q** 新市道、向原別府線は何年の完成、開通を目指すか。

**A** 正式な完成、共用開始は県道交差点との兼ね合いがあり、できるだけ早く供用開始できるように事業の推進をしていきたいと考えている。





志賀 輝和 議員

「小学校の教育環境の  
今後の在り方について」  
他

**Q** 由布川小学校の教室不足の対応について問う。

**A** 現状で最も不足が懸念される特別支援教室対策として、パソコン教室を改修し、特別支援教室3室に転用することを検討。増改築の根本的解決については、学校規模及び配置の適正化基本方針に基づき、今後、由布川小学校と協議をしていく。

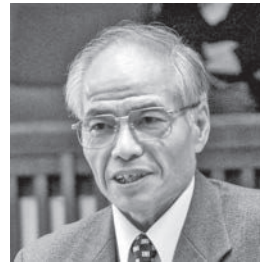
**Q** 庄内町における、3小学校の今後の在り方について問う。

**A** 段階的な統廃合ではなく、幼稚園も入れた幼・小・中一貫教育校の導入を検討している。

**Q** 新型コロナ特例貸付金の、償還免除申請の状況及び生活困窮者支援対策について問う。

**A** 特例貸付金の償還免除申請件数は283件、金額では1億768万円で貸付件数の34.3%となっている。特例貸付が終了した世帯で、なお生活が困窮している世帯には、生活困窮自立資金として世帯員数に応じて、月6万円から10万円を最大6か月間支給し、それでもなお就労や生活保護に至っていない生活困窮者に追加支援事業として自立支援金の1か月分を支給し、併せ市独自事業として「生活困窮者サポート給付金」を本年8月より開始している。

このほか災害時の指定避難所協力者の名簿化について質問をしました。



加藤 幸雄 議員

「新教育長の  
抱負について」他

**Q** 新教育長の抱負について、タブレットの配布で現職の時と変わりは。

**A** 教職員に求められる技能は増えている。児童生徒に真摯に向き合い、学びを進めることは変わってはいませんが、変わってはならないものと捉えております。

**Q** 教職員の学び直しについて

**A** 現場を離れて、大学等で長期研修に参加している先生はいます。

**Q** 不登校等の対応策について、タブレットをログインすると出席となる自治体がありますが、由布市は。

**A** 由布市の中でもそういった実績はあります。

**Q** 今後のコロナ対策について、ワクチン接種の国の方針は3か月を過ぎてからになりましたが。

**A** 由布市では、前回接種から3か月経過後の接種対象者に接種券を郵送しています。

**Q** 激甚災害等の復旧工事について、災害の継ぎ目付近を2～3m程度両方を広げて復旧工事を行う考えは。

**A** 基本的には継ぎ目付近を2～3m広げて、復旧工事を行うことはありません。継ぎ目というところは「小口止」で壊れないようにコンクリートで固めて側をガードする工法を取っています。



坂本 光広 議員

「台風14号災害に対する  
農政の対応について」  
他

**Q** 台風14号災害で被災し田んぼをやめようかとの声も聞く。農政の対応は。

**A** 大規模な災害発生リスクが高まる中、まずは、農業共済や収入保険などのセーフティネットの活用により農業経営を継続できるよう、関係機関と連携して加入の推進に務めていきたい。今年度の肥料や燃料などの高騰により農業経営の継続に多大な影響がある中、短期的な対策として農畜産業再生産緊急対策事業により、認定農業者などの経営体に対し、生産資材購入に係る経費を支援しております。中長期の対応については、ファーマーズスクールやスタートアップファームを活用した担い手の確保、地域を牽引する担い手である集落営農組織の支援、園芸推進品目であるベリーツ、白ネギ、梨並びに畜産など地域に根ざした持続可能な農林畜産業の達成に向け、引き続き取り組んでいきます。

その他、台風14号災害、これからのイベントのコロナ対策について質問しました。



湊野 けさ子 議員

「市内小中学校の体育館  
の空調整備を」他

**Q** 市内小中学校の体育館の空調整備を。

**A** 当面の間は国の補助金の動向や他市町村の整備手法等を注視し、大型扇風機の活用など財政状況の中で対策手段を研究していきたい。

**Q** 生命（いのち）の安全教育について。

**A** 学校の教育課程の中に「性に関する指導」の全体計画と年間指導計画を位置付け、発達段階に応じて系統的に指導を行う体制を整えている。

**Q** 「未就園児」の家庭の困りごとへの支援について。

**A** 0-2歳児が728人で、保育所等利用している子どもは489人、通園等していない子ども239人（10/1現在）。令和6年度にすべての妊婦や子育て世帯の子どもへ一体的に相談体制を行う「子ども家庭センター」の設置に向け関係機関と取り組む。

**Q** 塚原地域の「道の駅」地域づくりの進捗状況は。

**A** 「塚原地域の目指す将来像」を率直に意見交換し、「道の駅」になるか、別の形の小規模な拠点か論議した。

**Q** 带状疱疹ワクチンに補助制度を。

**A** 前向きな検討をしたいと思うが、専門的知見や国の定期接種の動向も見極め注視していく。



佐藤 郁夫 議員

「ノーリフト推進事業  
について」他

- Q** ノーリフト推進事業について。市は介護サービスの充実として、介護従事者、利用者の双方に優しいノーリフティングポリシーの普及に取り組んでいる。高齢化社会の中、益々これから利用者が多くなる介護職場の環境改善対策について聞く。
- A** ノーリフティングケアは、持ち上げや抱え上げなど人力での介護を行わず、リフトなどの福祉用具を活用することで介護する側、される側にもやさしいといった特徴がある。職場環境の改善と介護従事者の確保等に繋がるので、事業を推進していく。
- Q** 地域とめざす連携型中高一貫教育の推進について。由布高校は、地域の方々から愛される学校づくりを目指している。最近は募集定員に足らず、学級縮小される恐れがある。その対策は。
- A** 従来の中高一貫教育の推進だけでは限界があると感じ、令和2年より、幼稚園・小学校・中学校・由布高校の13年間を見通した「由布市型人材育成教育」を展開し、由布高校を市の人材育成の中核として位置付け取り組んでいる。その他、神楽・ふるさと祭りについて質問しました。



加藤 裕三 議員

「大分川他河川改修  
について」他

- Q** 大分川他河川改修について。
- A** 早期完成に向けて事業主体の大分土木事務所を通して、毎年度、県議会に対する要望書を提出するとともに、工事が円滑に進むよう地元調整の協力をしている。今後も要望、地元調整を継続し問題解決に取り組む。河川の堆積土砂等撤去についても緊急度の高いところから県が対応する。また、宮川については、再三県に要望してきた。今後も継続し取り組む。
- Q** 市有財産の有効活用について。
- A** 令和3年度詳細調査を実施した結果、当時未利用物件は24物件。本年度、2物件を公売し、現在22物件が未利用財産。今後は由布市公有財産管理委員会に諮り基本的方向性を決定し利活用に向けた事務を進める。まちづくりや地域活性化にとって重要な物件は、地域要望や意見を参考にするための協議会等を立ち上げ検討を進める。
- Q** スクールバスの運行について。
- A** 市内中学生の利用生徒数は20人。学校行事では、午後1便目の運行を早めたり、タクシー送迎で対応している。今後は、利用状況を注視し、より効果的な方法を研究しているが、変更等が難しい状況にある。その他「小中学生のスポーツ障害について」



高田 龍也 議員

「湯布院庁舎について」  
他

- Q** 由布市の財産管理・開発条例について、由布市におけるプロポーザル方式入札（湯布院公民館跡地利用にも採用）の選定委員会の選定基準を伺う。
- A** プロポーザル方式により契約を締結するに当たって、実施基準となるガイドライン等は作成しておりません。担当課にて選定委員会設置要綱を作成し選任します。
- Q** 湯布院庁舎について、令和4年台風14号後に発生した不備報告と今後の工程を伺う。
- A** 浸水や漏水があり、外壁にクラックが発生。建物に瑕疵があり、施工業者・施工管理者に瑕疵担保請求を行った。
- Q** 原因は。
- A** 塗膜防水（地下基礎部）をしていなかった。
- Q** 鉄筋コンクリート構造物に、亀裂や浸水が発生した場合はコンクリート強度が低下するが強度に関する見解は。
- A** 浸水部分が基礎部分ということも判明しております。こういった手法で検査出来るかも含め検討します。
- Q** 予算が適切に組み入れ、適切に執行されたか、返還請求も考え監査をお願いしたい。
- A** 検査等については、もう還付請求を私が直接業者のほうに言い渡しました。十分精査し、適切な対応を取っていきたい。



田中 真理子 議員

「豪雨災害による復旧状況  
と対策、及び気象情報、  
避難情報のデジタル化の  
進捗について」他

- Q** 台風14号による農地、農業関連の被害の復旧状況、対策について。
- A** 発生当初（R4.9.18）から3週間後までに、300件程度の被害報告を受ける。被害額が40万円以上で、国の農地、農業用施設等災害復旧事業に該当する農地が130件、農業用施設が70件。復旧計画は11月末から年明けに査定を実施し、その後復旧工事を実施し発注を進めていく。国の災害復旧事業に該当しないものは、市単独災害、弔慰金、小災害の農地等災害復旧補助金等での復旧を案内している。
- Q** 気象情報、避難情報のデジタル化の進捗について。
- A** 災害時には、迅速で正確な情報の収集、共有が不可欠。情報収集の一元化、情報共有を図ることを目的とし、災害対策専用室を設置。マルチモニター、テレビ会議室システム等を整備し、今回も各振興局、消防本部をオンラインで繋ぎ、本会議を開催し活用した。\*その他、新教育長の教育方針について、健康立市に基づく市民の健康状況について伺う。



佐藤 孝昭 議員

「由布市の農業畜産業等の肥料や光熱費等の高騰による救済措置対策について」他

**Q** 肥料価格の高騰による農業経営への影響緩和の為に、大分県・由布市の高騰対策事業と申請状況は。

**A** 申請状況は、大分県の肥料低減の取組を行う生産者に対し、肥料価格上昇分の7割を補填する国の肥料価格高騰対策事業は11月末時点で27名です。由布市の認定農業者などの経営体に対し生産資材購入に係る経費を支援する農畜産業再生産緊急対策事業の申請状況は、11月末時点で52経営体です。

**Q** 認定農業者しか適用しないと聞かれますが、認定農業者以外も救済できるのか。

**A** 県も市も高騰対策事業は、認定農業者でなければならぬ要件はありません。それ以外の農業者もある程度の規模を持った農業者も対象です。

**Q** 困っている実態より申請が少なく感じますし、要綱が使い難かったり、救済措置の広告の仕方やアピールのやり方が不十分なのでは。

**A** 市のホームページ、市報、自治区分配チラシを配布しているところですが、ご指摘の様にまだまだ周知が足りない部分は様々な手段等を使いながら、再度周知徹底を図っていきます。

ほかに「光熱費高騰対策で住宅に太陽光パネル補助を」「まちづくり協議会の課題解決」「宅地開発の教育現場との連携や把握状況」「災害復旧の基準の見直し」「スポーツ施設の洋式トイレ化へ」「教育現場での主権者教育の現状」等について質問しました。



甲斐 裕一 議員

「新教育長に聞く」

**Q** 新教育長の教育理念として「未知の時代をたくましく、心豊かに生きる力を身につけてほしい」とあるが、その意図は。また、由布市の教育基本方針に「知」「徳」「体」を軸に3つの学校教育の推進を掲げているがその内容とは。

**A** 難しい時代を生きる力を身につけることが重要であると考えられることから、生きていくためには、単に知識や技能の習得だけでなく、仲間との対話を重ね納得解を得る力が必要と考えている。

次に3つの推進については、

- ①働く知識や技能の習得
- ②未知の状況に対応できる思考力・判断力・表現力などの育成
- ③学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性を養うための推進していくものである。



首藤 善友 議員

「学校給食の無償化について」他

**Q** 学校給食の無償化について（6月議会につづき取り上げた）。2017年小中学校とも無償化した自治体は全国で76あった、現在224自治体へと5年間で3倍に広がっています。子育て日本一をめざす由布市でも実現への道を一步でも前へすすめて頂きたい。答弁を求めます。

**A** 授業料、教科書については無償となっているが、学校給食は法的には無償の対象とはなっておりません。しかし、保護者負担の軽減という観点から全国的に給食費の無償化についての議論があるという事は承知しております。

**Q** これは1951年国会の政府答弁の中で「義務教育の無償をできるだけ早く広範囲に実現したい。学用品、学校給食費などの無償も考えている」とあった。今年10月7日岸田総理は学校給食法は自治体判断の全額負担を否定していないとの答弁をした。一度にできなければ第2子あるいは第3子以降無償も考えればどうか。来年度予算に第一歩を求めます。

**A** 今、議員にアドバイス頂いたことも参考にさせていただきます。他に  
 ②公共トイレ…イベント時等考えていただきたい。  
 ③カントリーパーク、公園の遊具…今年度中に完了したい。  
 ④生活道路への小規模な改修補助…申請があれば対応していきたい。  
 等々の回答が得られた。



太田 洋一郎 議員

「インボイス制度の周知支援を」他

**Q** インボイス制度の周知支援を。令和5年10月1日より導入されるインボイス制度だが、周知や理解不足は否めない状況にあり、制度に対応するための準備に悩む声を聞く。特に農業従事者等、宿泊施設や飲食店等に納入する際、制度に登録していない場合に不利益が生じるケースが想定されるが対策は考えているか。

**A** 税の観点から税務課からの周知や啓発と共に、商工会等とも連携を取りながら相談も含め寄り添った対応を図る。農業団体と連携して農畜産業者に対して制度に関する研修を実施しているが、しっかりと周知を図り、税務事業者への移行等の相談にも対応する。

**Q** パートナーシップ宣誓制度の導入を。県内では豊後大野市をはじめ竹田市、臼杵市が制度を導入しているが、住みよさ日本一を目指す由布市も導入する考えは。

**A** 自治体単位の取り組みでなく広域的に、全国レベルの導入が望ましいと考える。国の動向に注視しながら慎重に検討したい。

\*その他、観光大使制度、湯布院公民館跡地について質問しました。

